

信州飯山 北和栗ボルダー

令和5年9月3日 RCT/K

長野県飯山市瑞穂地区にあるこのボルダーは、数年前から存在は知ってはいたが、スラブ状で、さらに植林帯の北面にあるため雨後の乾きが悪く、山の傾斜地にもあるためあまり意欲が湧かず放っておいた。

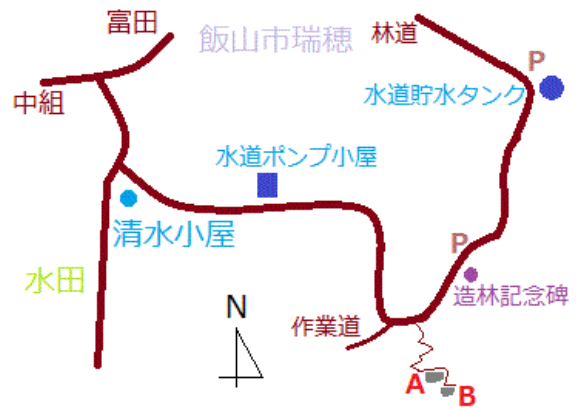
今春、ちょっと時間がある時に訪れてみると、アプローチが近く大きさもそこそこあり、少しは遊べそうだったので簡単に周りの藪を刈り払って帰った。

その後、忙しさと天候の巡り具合が悪く行く機会がなかったが、今秋再確認に行ってみると面白い課題ができそうだったので、苔や泥を落とし下地を整備し帰ってきた。

その後また暫く間が空いたが、9月に入り乾いていそうな日を狙ってトライしに行ってみた。

岩は2個あり大きさは2から4m程、岩質は安山岩で全体的に逆層で、下地は安定している。

アクセスは少し分りにくく、先ず瑞穂中組地区の山際にある清水小屋を目指して行く。清水小屋から林道を少し登って大きくカーブを過ぎると「造林記念碑」が右側にあり、その斜向かいに駐車スペースがある。この辺は夏季は草が生い茂り分らないので鎌持参が良い。水道貯水タンクまで行くと行きすぎである。ボルダーまでは、大きなカーブまで戻り山の斜面を見上げると上にボルダーが見えるので、適当に斜面の踏み跡を登る。



《課題紹介》

●A岩



上がスラブ状で傾斜が落ちるので易しすぎるかなと思ったが、逆層なので意外と楽しめた。赤ラインは、カンテを右上するが側壁に良いフットホールドがない。最後は裏側から回り込んで上に抜ける。

水色ラインは、右手小カチ、左手小さなアンダーで足を上げる。

●B岩

思ったよりムーヴがあって面白い。逆層気味だが、ポイントのホールドは掛かりが良い。

赤ラインはリップを右側からトラヴァースし水色ラインに合流する。

オレンジラインは、リップの穴状ガバから直上する。

水色ラインは、オレンジラインからさらに右に出て直上する。

